



輝いている人

熱意をもって
できる限り支援を続けていく

音楽を通じて被災地を支援しようと、市内6公民館を会場にチャリティーコンサートを企画し、自らもバンドのボーカルとして出演するのが、東日本大震災復興支援チャリティーコンサート実行委員会代表の宇佐美敬三さんだ。

4月21日の山手公民館を皮切りに2か月に1回程度のペースで開催する。「震災から1年が経つが、支援する気持ちが薄れないように」と企画。来場者に義援金を募り、そうじゃ・宮城っ子基金へ寄付する。

出演するのは同実行委員など総社市を中心に音楽活動をしているアマチュアミュージシャン。目と耳で感じてほしいと、笑顔の写真や出演者のメッセージなど元気になる映像を織り交ぜながらのコンサートになる計画だという。「音楽には

人に訴える力がある。みんなで一つになりたい」と、期待を寄せる。

昨年5月には市民会館でチャリティーコンサートを開いた。この実行委員会が結成されたのもそのとき。「日程を調整して出演してくれたり、何かと助けてくれたりする頼もしい仲間」と、約30人のメンバーに感謝する。

普段はザ十二ヶ郷・陽水のギターボーカルとして、れとろーどや雪舟フェスタなどで歌声を披露している。歌う曲は主に井上陽水の曲。「昔から陽水が命」とにっこり。

「生で聞き、いっしょに歌い、心を一つにできれば」という宇佐美さん。「復興には何年かかるか分からない。熱意をもち、できる限りの支援を続けていく」と熱い思いを話してくれた。

そうじゃ・宮城っ子基金を支援しようとチャリティーコンサートに取り組む

宇佐美敬三さん(井尻野)

さあ、はじめよう!

気持ちのよいあいさつ



推進啓発ポスター

「おはようございます」、「こんにちは」、「ありがとうございます」。

皆さん、人に会ったとき、あいさつがきちんとできていますか。あいさつは、人と人が付き合っていくときの基本です。笑顔で明るく、元気よく、心を込めてあいさつをしましょう。

心のなかで「おはよう!」と大きな声を出しても、相手には伝わりません。また、相手を大切に思う心の伴わないあいさつ、形だけのあいさつでは、心を通わせることはできません。

まごころの伝わる気持ちのよいあいさつは、自分の人間関係を広げたり、深めたりします。ほかの人の心も、自分の心も明るく豊かにします。

胸のなかでホッと温かくなる、そんなすてきなあいさつが自然にできるようになるといいですね。心からの笑顔を添えることも忘れずに。

問い合わせ 学校教育課 (☎92-8358)



あいさつ運動をする山手小学校の児童。毎朝、児童が交代であいさつに立ち、登校する友達に元気に「おはようございます」とあいさつする。この活動が評価され県のわかば賞を受賞し2月14日、同校で表彰式が行われた

季節の絵本!

『ようちえんにいきいたいな』
アンバー・スチュアート文 レイン・マーロウ絵
ささやまゆうこ訳 徳間書店



今日のテーマ 「入園・入学」

春といえば、入園・入学・進級の季節です。

子どもたちの胸はうきうきわくわくでいっぱい。でも、直前になるとちょっぴりこわいなど、どきどきしています。そんなときにこんな本はいかがですか? アヒルのお母さんのように、不安な子どもにそっと寄り添い、一歩踏み出す勇気を与えてあげましょう。

今月から、その季節にあった絵本を紹介していきます。

子育て王国そうじゃ